



日本の滝百選



広報

かじき

人口・世帯の動き
(平成11年4月1日現在)

総人口23,275人 (△247)
 男 10,768人 (△104)
 女 12,507人 (△128)
 世帯数 8,852 (△ 53)
 出生 13人 死亡 28人
 転入225人 転出457人
 ※() 内は前月との比較※

KAJIKI RDP II

18

KAJIKI RDP II



KAJIKI RDP II

18

36 18A KAJIKI RDP II

〔高齢者等の憩いの場所になれば〕完成したふれあいセンター
 平成11年

4月号

今月のページ

議会報告・施政方針	2～9ページ
保険生活課・健康福祉課見取図	10～11ページ
町の出来事	12～17ページ
グレタの偶作・棕鳩十	18～19ページ
地域振興券・人事異動・お知らせ	20～23ページ
シリーズ介護保険	24ページ

議会報告

【第一回定例会】

平成十一年度一般会計予算

七十七億八千六百万円

(前年度当初予算比較)

十億九千六百万円(16・4パーセントの増)

平成十年度一般会計補正予算

三千三百二十三万九千円を減額

総額

七十六億五百二十九万二千元に

「加治木龍門陶芸・

健康の里整備事業」規模を縮小

平成十一年度第一回町議会定例会は、三月十日から二十六日まで
の十七日間の会期で開催され、平成十年度補正予算や平成十一年度
当初予算、財団法人加治木町開発公社の経営状況の報告や、町三役
及び教育長の給料月額、町議会の議員、各種委員及び消防団員の報
酬額を二月十六日の特別職報酬等審議会の答申を受け改定すること
を可決。加治木町ふれあいセンターの設置及び管理に関する条例制
定の件など報告二件、議案二十四件、発議、陳情などを審議、可決
しました。

平成11年度主要普通建設事業

	予算額
①合併処理浄化槽設置整備事業補助金	61,995千円
②土砂崩壊防止事業	80,802千円
③ふるさと林道緊急整備事業	199,200千円
④垂之口川排水施設整備事業	41,100千円
⑤東岩原住宅建替事業	261,247千円
⑥加治木龍門陶芸・健康の里整備事業	82,697千円
合 計	727,041千円

総合振興計画を具体化

施政方針

川野威朗町長は、第一回町議会定例会で、平成十一年度の八つの重点施策や「人・もの・技術の交流するまちづくり」「豊かな教育と文化あふれるまちづくり」「安心して住める健康なまちづくり」「自然と調和する快適なまちづくり」「個性あふれる産業振興のまちづくり」「行財政の推進」の六つの大綱を織り込んだ施政方針を発表しました。（その概略を説明します。）

私は、昨年十一月の選挙におきまして、町民の皆様方の温かい御支援を賜り、第二十二代町長として町政を担当させていただくことになりました。

就任後四か月めを迎えた今日、改めて責任の重大さを痛感いたしております。何とぞ町議会の皆様をはじめ、町民各位の御支援御協力を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

町政の推進に当たりまして、私は町民の声を町政に生かすことを念頭に、健康と福祉のための施策の整備や教育・文化の促

進、生活環境の整備等、所要の施策を、微力ではございますが、こん身の努力を重ね、町民の負託にこたえて参る所存でございます。

今日の我が国は、少子・高齢化の進展や社会経済情勢の急速な変化等、様々な分野において構造的な変革の時代に直面しており、長引く不況から脱却できず、失業率も過去最高に達するなど、当面、景気の回復が最大の課題となっており、限られた財源の中で重点的配分と、

経費支出の効率化に徹するとともに、全般にわたり徹底した節減に努めながら、財政の健全化及び住民福祉の向上に努められるよう、職員と一丸となって諸課題に対処して参ることが肝要であると考えております。

本町の行財政の指針であります総合振興計画は、平成九年度から十三年度までの後期基本計画を実施中であり、今後この総合振興計画を基本に、私の政策を盛り込みながら具体化して参りたいと考えております。

8つの重点施策を積極的に展開

平成十一年度予算編成をするに当たり、厳しい財政状況の下で行財政構造改革の基本的考え方を維持しながら、町民に対し風通しの良いまちづくりの推進を実現するため、町長室を一階



施政方針を述べる川野町長

に移し常に開放するとともに、住民から要望の大きいシルバー人材センターの設立に向けて努力しながら、次の八つを平成十一年度重点施策として、設定をいたしました。

- ★その第一は、ふるさとづくり事業及び雇用促進住宅の建設、町営住宅の建替事業
 - ★二つ目は、加治木港・港湾整備事業
 - ★三つ目は、町内道路網及び排水整備事業
 - ★四つ目は、福祉・保健・環境衛生整備事業
 - ★五つ目は、教育・文化の振興
 - ★六つ目は、農林業・商工業の振興
 - ★七つ目は、簡易水道整備事業
 - ★八つ目は、町民の声を町政に生かすこと。
- 以上の八つの重点施策を基本に、目前に控えた二十一世紀への躍進に向かって明るい活力のあるまちづくりのために精力的に努力して参りますので、今後なお一層の御支援、御協力を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。
- それでは、平成十一年度の予算編成につきまして、町の総合振興計画にあります大綱に沿って、その具体的な内容を御説明申し上げます。

大綱の 第一点

人・もの・技術の交流するまちづくり

▼十号バイパス

十四年度までに完成

▼予定地を

多目的広場として整備

大綱の第一点は「人・もの・技術の交流するまちづくり」です。

■加治木港・港湾整備事業 本年度も引き続き整備を行い、事業の早期完成に向けて努力して参ります。

■国道十号バイパスの建設促進 平成十一年度には千鳥橋まで、平成十四年度までには加治

木ジャンクションまでの完成のめどがたちましたが、今後とも早期完成と、一日も早い供用開始に向け努力して参ります。

■情報・通信の分野 ホームページをより充実させ、情報ネットワークの整備推進についても広域的観点から研究を進めたいと考えております。

■県スポーツ中核施設の誘致



加治木港の早期完成を

予定地の一部を今後年次計画的に多目的広場として芝張り整備をし、各種イベントや競技大会等に利用したいと考えており



高速道はますます便利に

ます。これらの実績をふまえ、県により一層働きかけ、県スポーツ中核施設を誘致し、併せて本町総合運動公園整備を計画して参りたいと考えております。



ますますふえるプレジャーボート

■人の交流 各種国際交流事業を進め、加音ホールを核に、アイルランドとの文化交流を実施して参ります。

大綱の 第二点

豊かな教育と文化あふれるまちづくり

■文化会館 オープン以来三年目を迎えましたが、会館利用者は

すでに二十九万人を超え、月平均約一万人の方に御利用いた

だいております。また、ホールの稼働率は、大ホールが五十二

パーセント、小ホールが六十四・一パーセントとなっております

り、大・小ホールとも昨年を上回る数字となっております。

▼ グレン・ミラーや

由紀さおり・安田祥子

コンサートを実施

▼ 教育環境の整備充実



加音ホール

■**住民参加型事業** カノン・ピアノフェスタを開催し、わくわく健康秋まつりやロータリー・カノンフェスタを共催事業として取り組み、地域文化の振興と発展に寄与して参ります。

学ぶよろこび

生かすよろこび

助けあうよろこび

■**平成十一年度の自主文化事業**
五月二十八日のグレン・ミラー・オーケストラを皮切りに、クロフォード・ピアノ・トリオ演奏会、由紀さおり・安田祥子童謡ポピュラーコンサート、吉田洋ピアノライブなどの音楽系のほか、演劇系として劇団飛行船のマスク・ブレイミュージカルや劇団四季のファミリー・ミュージカルなどの開催を予定いたしております。

■**生涯教育** 今日まで培われてきた「伝統と文化」を継承しつつ、自ら学ぶ意欲と社会の変化に対応できる教育環境の充実に努めて参ります。

■**学校教育** 教育環境の整備充実に努め、就園奨励費や就学援助費、育英奨学金などできる限り配慮し、教職員の資質向上及び児童・生徒の学力・体力向上に努めて参ります。

■**社会教育** 生きがいのある生活と豊かな明日を拓くために

「学ぶよろこび」「生かすよろこび」「助けあうよろこび」を掲げ、町民が主体的に対応して、生涯にわたり、自分に適した方法等により、継続的に学習できる環境を総合的に整えて参ります。

■**青少年健全育成** 異年齢集団による体験学習や社会参加活動を促すとともに、心身共にたくましい思いやりのある青少年の育成に努めて参ります。さらに、地域における伝承行事、史跡めぐりや加治木町青少年劇場（本年度は、柁城小・竜門小・永原小）を実施し、芸術文化に親しむ機会を拡充して参ります。

親子二十分間

読書運動の継承

■**椋鳩十文学記念館** 本年度も引き続き顕彰に努め、氏が提唱された「親子二十分間読書運動」の継承・普及に努め、椋文学を世界へ導き、充実・啓発に努めて参ります。

■**図書館及び郷土館** 各種資料の収集・整理・保存に努め、館内の整備充実を図りながら

本年度は日曜日開館に向け必要条件を把握し、整備を図って参ります。

軽スポーツを

普及

■**社会体育** 町民の健康維持と体力の向上を図り、温もりと活力に満ちた明るい地域づくりのために、スポーツ・レクリエーション活動を普及奨励します。町民がいつでも、どこでも、誰でも気軽に楽しめるニユースポーツ用品を利用した軽スポーツを普及して参ります。

■**学校保健** 血液検査による小児生活習慣病予防検診等を実施し、その予防対策に努めて参ります。

■**学校給食** 成長期にある児童・生徒の心身の健全な発達のために、バランスの取れた栄養豊かで安全な食事を供給し、衛生面を十分配慮しながら対処して参ります。

■**学校体育** 小・中学生の体力・運動能力調査を実施し、児童・生徒の基礎運動能力の向上を推進して参ります。

■**加治木龍門陶芸・健康の里整備事業** 十一年度も引き続き造成工事を実施し、多目的広場



トレーニングにはげむ人々

12年度 に 施工

等の整備を行い、地域の活性化、住民の生涯学習施設として、より効果の上がる施設として検討し、建物建設については、十二年度に施工することにいたしました。

大綱の第三点

安心して住める健康な町づくり

放課後児童対策事業

を順次導入

乳幼児に個別接種

児童・生徒に集団接種

二十一世紀の本格的な少子・高齢社会の到来を目前に控え、経済状況が依然として厳しい状況にあるなかで保健福祉行政においても、町民が安心して暮らせる町づくりを推進し、保健・福祉サービスの充実を基本に高齢者等を中心とした行政サービスの集中化と利便性をはかる観点から新しい組織を四月から発足してサービスの向上に努めて参ります。

児童・母子福祉対策

児童・母子福祉の増進を図る観点から保育所運営の充実、児童手当、児童扶養手当等諸手当の支給事業、ひとり親家庭医療費助成事業、こどものショートステイ事業、母子生活支援施設運営

等に取り組んで参ります。県単放課後児童対策事業も錦江小校区、竜門小校区と順次導入して参ります。

高齢者保健福祉対策

在宅福祉、施設福祉などの従来のサービスを保健・医療との連携を一層図りながら、高齢者や障害者に優しい快適な町づくりを推進して参ります。

障害者の福祉の増進

木町障害者福祉計画を基本に重度心身障害者医療費助成事業、日常生活用具給付事業等を引き続き取り組むほか、障害者デイ・サービス事業につきましても新たに実施の方向で障害者の自立と社会参加の促進に努めて参ります。

母子保健

「安心して産み、健やかに子どもを育てることのできるまちづくり」をめざして、引き続き「加治木町母子保健計画」に沿った各種の健診や学級等を展開して参ります。

成人保健

老人保健法に基づき、生活習慣病・寝たきり予防につながる健康教室や健康相談の推進に努めて参ります。

健診体制も効率的で充実した健診事業を推進して参ります。

予防関係

乳幼児、児童、生徒に感染症対策として予防接種事業を医師会等と綿密な連携を図り、乳幼児については個別接種、児童、生徒については集団接種を併用して参ります。

分別収集を推進

環境衛生

「加治木町生活排水対策推進計画」に沿って、合併処理浄化槽の設置整備事業を継続し、公共用水域の水質保全に努めて参ります。

廃棄物処理対策

平成十年四月から実施している資源ごみ分別収集を推進し、引き続き排



分別収集も定着してきた



工事が進む始良衛生処理場

出される廃棄物に対して適正な処理に努めて参ります。

塵芥・し尿・火葬処理

始良郡西部衛生処理組合で共同処

理を行い、構成町と連携をとり、効率の運営を目指します。

フロンガスを回収

水道未普及地区対策

簡易水道施設整備への方向で事業を進めて参りますが、それまでの間は各地域への技術面、財政面の支援を行い、生活用水の確保に努めて参ります。

騒音、悪臭、水質汚濁等の公害や近隣公害

町民の生活環境保持が図られるよう努めるとともに、フロンガスの回収につきましても引き続き取り組んで参ります。

西別府線の歩道

設置と道路拡幅

交通安全対策

年次的にガイドレール、カーブミラー、区画線等を設置し、町道西別府線の歩道設置及び道路拡幅を本年度も引き続き進めて参ります。

大綱の 第四点

自然と調和する快適なまちづくり

▼雇用促進住宅10月入居開始予定

▼東岩原住宅を建設、新道住宅は設計

▼明神南線を整備（60m）



急ピッチで工事が進む雇用促進住宅

いたします。

■住宅 東岩原住宅建替事業の建設工事と新道住宅建替事業の設計及び地質調査を実施いたします。

■雇用促進住宅 本年九月末には完成する予定で、八月ごろから入居者の募集を開始し、十月ごろより入居開始になる予定です。

■都市計画 基本的な方針の策定を平成十二年度以降に計画しておりますことから、十一年度にそのための基礎調査を実施



明神南線

■道路網の整備 本年度は新設道路として平成十年度から着工いたしました明神南線の約六〇mを引き続き整備いたします。



垂之口川はこの下にある

■町道の改修・改良・補修 緊急度の高い箇所から随時整備を進めることとし、橋桁塗装事業は年次的に、生活道路整備につきましては申請に基づき対応して参ります。

垂之口川上流
へ改修整備



毎年寄州ができる

■排水事業 垂之口川が、平成十年度までに河口から百五十mの改修が完了いたしますので、引き続き上流への整備を実施いたします。豪雨のたびに恒常的に冠水する地区の解消に向け測量・設計に着手し、他の箇所も計画的に改修を進めて参ります。

隼人・加治木線登坂
車線千五百m整備

■町内における県道及び河川関係並びに国道の整備 平成九年度から着手いたしました隼人・加治木線の登坂車線の整備区間約千五百mの整備が継続さ



千鳥橋までほぼ埋立が終わった10号バイパス

れます。また、前年度に引き続き伊集院・蒲生・溝辺線の早期完成に向け努力して参ります。

■河川 県の管理河川において、寄洲除去が昨年度に引き続き実施されます。

■国道十号バイパスの整備

加治木ジャンクションまでの早期完成に向け、強力な陳情活動を展開して参ります。

■消防・防災 本年度も、辺

川下二地区の急傾斜崩壊対策事業を前年度に引き続き継続し、今後とも危険地区の解消に努めて参ります。崖地等に近接する危険住宅移転事業も引き続き実施いたします。

大綱の
第五点

個性あふれる産業振興のまちづくり

農業振興地域整備計画を作成

各種土地改良事業を実施

農業をひとつの産業として位置づけ、農家の経営指導や中核農家の育成を図り、本町に望ましい農業構造並びに農業経営体の育成、確保に向けた取組みを推進して参ります。

■新農村振興運動

小山田地区を中心に、地域の資源を活かした付加価値型農業への取組みが定着するよう支援いたします。

■農業振興地域整備計画

農業地域を保全し、農業に関する公共投資、その他農業の近代化のため必要な条件を計画的に推進し、住民への十分な啓発を行い、農業振興地域整備計画を作成いたします。

■地域畜産再編対策推進事業

畜産農家の経営安定に資するため、その相互協力と和牛生産技術向上をめざして畜産の振興を図って参ります。

■農地の有効利用等

農家の規模拡大や農地の有効利用を図



人気がたかいキャロット製品

り、農業の中核的担い手の育成、農地の幹旋により経営規模拡大、農地保有の合理化、地域農業の振興、農業構造の改善を進めて参ります。

■農業農村整備事業の推進

農産物の生産条件の改善、輸送力の向上、農業経営の安定化、生産環境の整備のため、各種土地改良事業を実施して参ります。



もっと人々が集まる町づくりを

【十一年度新規事業】

■町単独土地改良事業

小規模地域における農道・用排水路等について、地域と連携を図りながら実施して参ります。

■県単独・農業農村整備事業

木田地区の用排水路の改修や、小山田地区の農道舗装を実施して参ります。

■基盤整備促進事業

市来原地区の農道網の舗装を実施して参ります。

■海岸保全施設整備事業

木田振興地区の高潮対策事業を実施して参ります。

■県営・畑地帯農道網整備事業

木田振興地区の高潮対策事業を実施して参ります。



梅雨時の豪快な滝

業・第二楠原地区 農道網の舗装を実施して参ります。

■林業の振興

山村の振興、

林業の再建に資すべく治山治水事業あるいは林道等の開設事業を積極的に推進し、除伐・間伐の推進や山林の環境整備に努めて参ります。

■林道高井田線

平成十年度

■林道高井田線

平成十年度

■林道高井田線

平成十年度

■林道高井田線

平成十年度

■林道高井田線

平成十年度

■林道高井田線

平成十年度

■林道高井田線

平成十年度

■林道高井田線

平成十年度

■林道高井田線

平成十年度

■林道高井田線

平成十年度

■林道高井田線

平成十年度

■林道高井田線

平成十年度

■林道高井田線

平成十年度

■林道高井田線

平成十年度

■林道高井田線

平成十年度

■林道高井田線

平成十年度

■林道高井田線

平成十年度

■林道高井田線

平成十年度

■林道高井田線

平成十年度

■林道高井田線

平成十年度

■林道高井田線

平成十年度

■林道高井田線

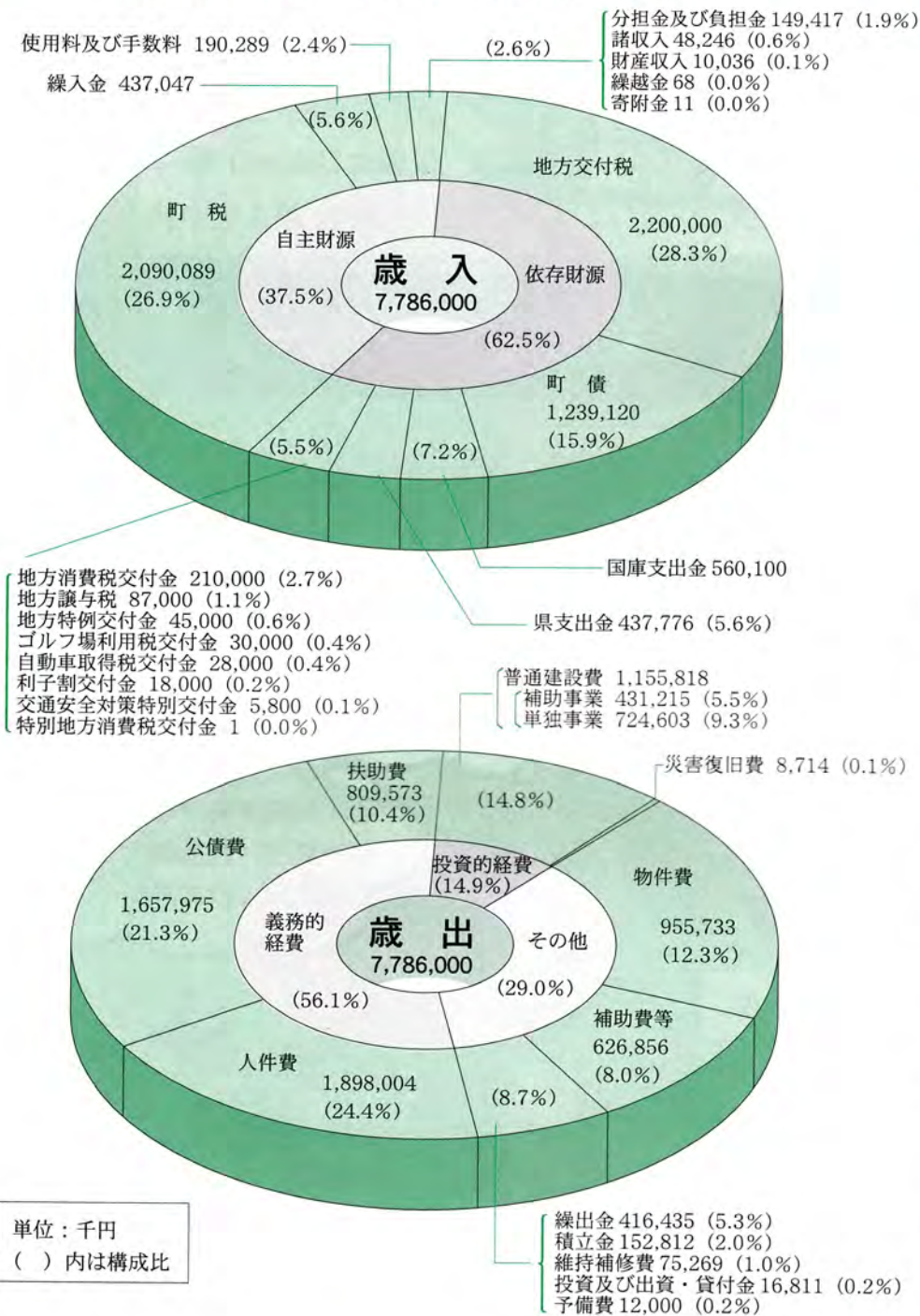
平成十年度

■林道高井田線

平成十年度

グラフで見る 町の予算

平成11年度一般会計当初予算の構成



平成11年度特別会計当初予算の総額

会計名	予算額
簡易水道事業特別会計	8,389万2,000円
地域下水処理事業特別会計	3,284万1,000円
国民健康保険特別会計	17億9,127万2,000円
老人保健医療特別会計	30億5,200万円
農林業労働者災害共済事業特別会計	143万2,000円

大綱の第六点

行財政の推進

経費の一層の合理化を
町政を的確に推進

歳入面では、景気対策のための恒久的な減税が実施されることにより大幅な税収は見込めず、地方交付税も国税収入の落ち込み等から増収は厳しい現状であります。

歳出面では、限られた財源の中で経費の一層の合理化、効率化、重点化を図り、歳入と歳出のバランスのとれた行財政の執行に努めて参ります。

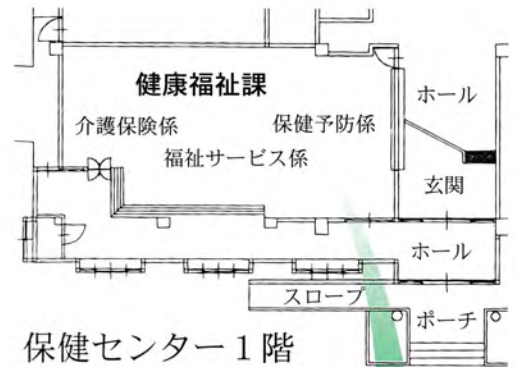
また、県から町へ権限移譲される地方分権や平成十二年四月施行される介護保険制度の導入等、今日の社会経済情勢の変化に即応した町政を的確に推進して参りたいと思います。

以上、平成十一年度の町政を

推進するに当たりまして、主な施策につきまして、所信の一端を申し上げますが、平成十一年度の一般会計予算は、七十七億八千六百万円で、平成十年度当初予算に比較いたしまして十六、四パーセントの増となっております。

部門 スタート ニューアル

平成十二年四月の介護保険導入に伴い、福祉課を「健康福祉課」に、保健衛生課を「保険生活課」に改め、また、町民に分かりやすく、利用しやすいようにするための庁舎改築工事が終わり、四月三日移転作業が完了。五日から業務を開始しました。係の場所、主な業務内容、机の配置図や担当職員名を掲載しました。不明な点は、お近くの職員にお尋ねください。



健康福祉課（保健センター）

(内)504、505

福祉サービス係

高齢者・障害者の介護等に関する総合相談
介護認定の申請受付（10月から）
社会福祉協議会、福祉センターの管理運営

富永課長

(内)500

ホームヘルパー

(内)503

身体の介護
家事、相談及び助言

(内)501

保健予防係

老人保健事業、母子保健事業
精神衛生、食品衛生、予防接種
結核予防、献血業務

介護保険係

(内)506

介護保険の被保険者の
資格管理等
介護認定に関する事務ほか

湯川補佐

郡山係長

外園 土屋

(内)506

鳥丸 岩澤
(正)

(内)504

岩田 松元

(内)505

北

森島 (内)503

坂元

黒田

保健婦

(内)501

福山

丸岡

臨

向江

池江

臨

(内)502

前田係長

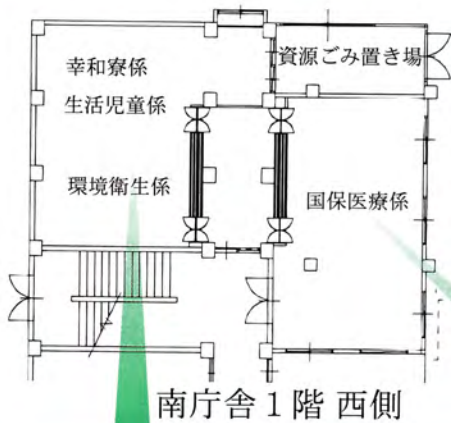
臨

臨

児玉

臨

カウンター



福祉部門と保健

4月5日(月)から新体制で

障害者にやさしい庁舎に一部リ

保険生活課 (南庁舎 1階)

(旧保健衛生課)

生活児童係

幸和寮係

児童福祉・保育所
乳幼児医療
生活保護・母子福祉
民生委員及び児童委員
災害救助、遺族等の援護
福祉関係団体の育成

(内)132

中 係	村 長	臨	川 田
	有 田	中 西	

福森補佐

(内)132

環境衛生係

一般廃棄物、狂犬病予防
浄化槽、生活排水、公害
墓地、簡易水道
地域下水

(内)131

山下 係長	楠 元	臨
	壺 岐	臨

(内)131

(内)133

国保医療係

国民健康保険
老人保健医療
保健事業

濱 田	外 山	岩 崎 係 長
臨	吉 永	

(内)133

レセプト (内)134

臨	臨	臨
	臨	臨

カ
ウ
ン
タ
ー

カ
ウ
ン
タ
ー

入
口

(内)130

神田課長

新館長に久保田喬彦氏(69歳)

たかひこ

椋鳩十文学記念館

椋鳩十文学記念館の新館長に久保田喬彦氏が就任することになり、四月一日川野町長から辞令が交付されました。

榎園高雄前館長が三月三十一日付で辞任したのに伴い、久保田彦穂(椋鳩十)氏の長男で、また、氏の文学に最も理解があり精通している喬彦氏に依頼を



していたものです。

喬彦氏は昭和五年、長野県に生まれ生後まもなく鹿児島へ。杓城小、加中、加高、鹿児島大学を卒業後、南日本新聞社、鹿児島毎日新聞社で九年間勤務。昭和三十七年、加治木工業高校を皮切りに県内各地の工業高校で三十年間教鞭をとる。その後鹿児島市教育委員会指導員。自宅は鹿児島市池ノ上町6-24。

先生には、五月号から広報かじきの「椋鳩十」欄を書いていただくことになりました。みなさんご期待ください。

人権擁護委員に

小濱寛司さんを委嘱

退任の佐藤さんには感謝状



嘱され三月十一日、役場会議室で鹿児島県方法務局加治木支局長から委嘱状の伝達が行われました。

これは、一月三十一日付けで任期満了になる佐藤一馬さんの後任に、議会の同意を得て小濱さんを推薦していたものです。

また、退任の佐藤さんには、鹿児島県方法務局長及び県人権擁護委員会から感謝状が伝達されました。

楠園の小濱寛司さんが、法務大臣から「人権擁護委員」に委

【人権擁護委員とは】人権思想の普及高揚に務め、地域住民の人権が侵されないように絶えず監視し、もし、これが侵された場合には、その相談相手になり適切な対策を講じて救済を図ります。また、自宅でも常時結婚や離婚、扶養、相続等様々な相談に無料で応じています。

これらに関する秘密は固く守られますのでお気軽にご相談ください。

小濱さんの連絡先

住所 木田三九九五-二(楠園)
電話 六三-四〇八三

任期 平成十一年三月一日から
平成十四年二月二十八日
までの三年間

自然石テーブルセットを寄贈

さえずりの森に

堀之内鋳業

弥勒の湯湾岳で砕石業を行っている堀之内鋳業が、さえずりの森展望所に自然石のテーブルセットを寄贈。三月十六日、常務取締役の道子夫人に川野町長から感謝状が贈られました。

同社は、町が進めている「さえずりの森整備事業」に、砕石を出す形で参加しており、同事業が完成に近づき、製品のPRと施設利用者の利便を図るため、採石場でとれた地元産の加



治木石(安山岩)で作ったもので、四つの腰掛けと一枚岩のテーブルでセットになっています。

新緑が芽吹き、回りの芝が根付く五月の連休ごろには一般に開放される予定です。



ゆっくりくつろいでください

あなたは何に使いますか！

6600人に

一億三千二百万円

地域振興券

国の経済対策の一環として、個人消費の喚起と地域経済の活性化を図るため、対象者一人につき二万円分の地域振興券が交付されることになり、その引換えが三月二十四日から二十八日までの五日間、役場体育館と保健センターで行われました。

この期間中に交付を受けたのは六千六百十八人で、金額にして一億三千二百三十六万円分が支給されました。町には対象者が七千七百七十人おり約九十二%の人が引換えを終えたことになりました。

初日の二十四日、町営体育館の入り口付近には早朝から大勢の人々が並び、午前九時からの受付開始を待ちました。

高齢者の対象者でみごと一番乗りをはたしたのは、朝六時から並んだ岩原東の吉村文男さん（72歳）。川野町長が「大切に使ってください」と栄えある第一号の振興券二万円分を手渡ししました。



第1号の吉村さんに振興券が

庭の世帯で、第一号となったのは、四人分を受取にきた吉原の主婦（37歳）。振興券番号の四から四まで連番で四組八万円分を受け取りました。主婦は「まず洗濯機を買い換え、小学校に入学する子の制服を買ってやりたい。もしあまったら四人にも分けたい」と話していました。なおこの振興券は、ステッカーの貼つてある加治木町内の店舗でしか使用できません。使用期間は九月二十三日までです。



増水先生の講演風景

一年でこんなに上手に 学習の成果を発表

かじの木大学講座
婦人学級 閉講式

高齢者や一般成人を対象に、園芸や料理、手芸、書道などを一年間学習してきた「平成十年度かじの木大学講座と婦人学級の閉講式」が三月十四日、加音ホールで開かれました。

式には受講生や社会教育関係者など三百人余りが出席、篠原教育長から各講座の代表に修了証書が渡され、エアロビクスや永原舞踊など五学級生が舞台上で成果を発表しました。

本年度は二十の大学講座を三百四十人、婦人学級を三十七人が修了、受講生たちは学習のあ

ゆみをスライドで鑑賞し、思い出深げに一年間をふりかえっていました。

また、『宇宙からみた地球の環境』と題し、増水紀勝第一工業大学教授が講演。人工衛星から地球を眺めると、アマゾン流域等の森林破壊が年々進んでいることがはつきりわかる。私たちは地球環境破壊に決して目をそむけることなく、それらを解決していく努力をしていかなければならない」と熱く語られました。



踊りもバッチリきまって



すばらしいエアロビ体操

生き生きと華麗に

みごとな舞い披露

芸能大会

町老人クラブ連合会主催の芸能大会が三月七日、加音ホールで盛大に開催され、十九の単老と九グループから百四十一人が出演、約六百人が見守るなか華麗な芸を披露しました。

これは、会員相互の親睦と日ごろ生きがいづくりなどで取り組んでいる舞踊や合唱、ダンスなどを大舞台で発表したもので今回で二十一回目。

大吉操副会長が「かねての練習の成果を十分発揮し、出演者も観客の皆さんと一緒に楽しんでください」とあいさつ。

音楽同好会の合唱「夜明けの歌」で始まったプログラムは、全部で二十九。同好会や単老、サークルなどで練習してきた舞踊やフォークダンス、民謡などが次々に演じられました。

最高の舞台にしようと加音ホールのスタッフが音響や照明などを担当。きれいに化粧し、色艶やかな舞台衣装に身を包んだ出演者にスポットライトが当たると、そこはもうプロの世界。

客席からは、一生懸命演ずる出演者におしめない拍手や、花束、おひねりなども贈られていました。



い



つ



ま



で



も



お



げ



ん



き



で!!



スナップ



スナップ





前田一郎キャスターの講演

平成十年度加治木町構造政策推進フォーラム（討論会）が三月一日、加音ホールで開催され、町経営者会や自営者クラブのメンバーら約五十人余りが参加しました。

主催者を代表し蔵満洋一会長が「我々は田畑の有効管理と次

世代への継承をしていかなければならない、もっと農業に対する誇りをもつてほしい」とあいさつ。

まず、未来の明るい農業経営をめざし、自立した経営方法をとっている岩手県雫石町の実態をビデオで鑑賞しました。

引き続きテレビ、ラジオの天気予報や気象解説でおなじみの、MBCウエザーキャスターの前田一郎氏を迎え「農業に活かす気象情報」と題し講演会を開催しました。前田さんは、テレビ出演の裏話や、天気予報図の見方や聞き方、風と天気の関係、週間予報はまず気温の変化に注意してほしい。降水確率何パーセントとは、六時間きざみの時間帯にその地域のどこかに一ミリ以上の雨が降る確率のこと、など「農業と気象は密接な関係があります。天気予報をうまく利用し、農業や生活に活用してほしい」とユーモアたっぷりに話しました。

天気予報は70%の確率 農業と気象は密接な関係

フォーラム開催



3年連続をねらう馬場君

二年連続「銀賞」に輝く 馬場裕君（竜門小） 春の防火ポスターコンクール

馬場裕君（竜門小学校四年）が「春の鹿児島県防火ポスターコンクール」において、昨年に引き続き銀賞を受賞し三月十八日、同校校長室で猶木始良郡西部消防組合長から表彰状が伝達されました。

これは「学校や家庭等における

火災予防に対する認識を深めてもらおう」と県が小中学生に呼びかけ募集したもので、管内の小学校から九百九十九点の応募があり、その中の金賞六十二点を県の審査会に出品。県審査会には各消防本部から千四百八十六点が集まり、その中から加治木町でただ一人銀賞に選ばれたものです。

馬場君は来年も頑張りますと力強く応えてくれました。おめでとうございます。

人間まず健康 もっと活力ある 福祉社会を ボランティアのつどい



ユーモアをまじえて話しをされた川原校長

「平成十年度ボランティアのつどい」が三月四日、福祉センターで開かれ、各種ボランティア団体や老人会、自治会役員な

ど約三百人余りが参加、事例発表や講演会に耳をかたむけました。

まず、社会福祉協議会長の川

野町長が「ボランティアの心でより豊かな人間関係を築いてほしい」とあいさつ。

事例発表には、南九州病院で療養中の吐合美智恵さんが車イスで登壇。『ひまわり電車を走らせた体験を通じて』と題し「障害者が車イスでも自由に動けるもっとやさしい町づくりをしてほしい」と訴えました。

錦江小学校の川原高男校長は「素敵な出会いボランティア」の演題で講演。多くの人生経験の中から「人間まず健康であることが、家族に、親に、人に対しても最高のボランティア」など、人間として生きていくには思いやりや助け合いの心が重要なのではと、心の糧になる貴重な話しをされました。

特急「きりしま」全便停車

幼稚園児が一日駅長

三月のダイヤ改正により、特急「きりしま」全便が加治木駅に停車することになり三月十三日、同駅一番ホームで停車を祝う出発セレモニーが行われました。

特急「きりしま」の停車は、これまで上下二往復の四本だけでしたが、地域の強い要望に応

え七往復全十四本を停車させることになったものです。

式典には、溝口県議会議長や川野町長、加治木幼稚園児やその保護者、JR関係者など数百人余りが参加。持留駅長が額川和真さんと松山友紀ちゃんの園児二人に一日駅長を委嘱しました。

十一時二十四分、宮崎発西鹿

児島行きの特急「きりしま二号」がホームに入ると、加治木女子高吹奏楽部のファンファーレに合わせテープカットが行われ、園児らもいっしょにくす玉を割り停車を祝いました。

列車は十一時二十五分、チビッ子駅長の挙げた手の合図でゆつくり出発。園児や保護者ら六十人がきりしまに乗り込み鹿児島までの試乗を楽しみました。

くす玉を割ってお祝いました



三味線にのり「あだ討ち劇」披露 トドに小学生初参加

永原地区に伝わる「トド（田踊り）」と、「ドケイ（道化）」が三月十四日、同地区の鎮守神社に奉納されました。

この日は、あいにくの小雨模様でしたが多くの地区民が集まり、勇壮な中にユーモラスな伝統芸能を楽しみました。

トドは、カマとナギナタを組み合わせ二人一組で二列になって勇壮に踊るもので、大人にまじり今回初めて向江睦君（永原小二年）が参加、短期間の練習にもかかわらず立派な踊りを披露しました。

ドケイは兄弟のあだ討ちを題材にした田舎劇で、狂言の一種とも伝えられ、サムライ装束に化粧をした五人が三味線、拍子木、鉦の「チンチンカッカ」のリズムにのって登場。兄を殺した弟が、抑揚のあるゆつくりしたせりふで演ずると大きな拍手が贈られていました。

初参加の向江君は「はすかしかったけど上手に踊れた」と、東清治保存会会長は「三晩の練習でした。勇壮なカマ踊りと田舎劇を末永く引き継いでいきたい」と話していました。

いつまでも残したい
田舎劇



先頭は「ゆり号」 マンボのリズム軽やかに 鹿児島神宮初午祭

鉦や太鼓、三味線の軽快なリズムに合わせ、鈴や飾りをつけた鈴かけ馬が華麗なマンボダンスを披露する「初午祭」が三月七日、鹿児島神宮参道と境内で開催され、約二十万人の人出で終日にぎわいました。

この祭りは四百五十六年の歴史をもち、五穀豊穡・牛馬の安全・畜産振興を願って、毎年旧暦の一月十八日に近い日曜日に開催されているものです。

今年の御神馬として先頭をきつて奉納したのは、岩下一郎さん(楠園)所有の「ゆり号」メス三歳。一月三十一日、関係者ら約六十人が出席して木田二地区公民館の馬頭観音で安全祈願の神事を行い、約一か月余りきびしい練習を積んできました。

九時三十分「ゆり号」は、ミス単人の三人や六十人余りの踊り連を引き連れ、参道入り口の保食神社を先頭をきつて出発。

色あでやかな五色の布を頭につけ、鈴の輪を首にまき、背には紅白ののぼり旗、ポンパチや米ダワラなどを飾りつけ正装。首を上下にふり、脚でリズムを上手にとりながらマンボダンスを披露。沿道を埋めつくした大勢の人々から盛んな拍手をあびていました。

なお、来年の初午祭は二月二十七日です。お楽しみに。

問に苦戦 難雨の中ゲームで楽しむ ウォークラリー大会

ワクワクウォークラリー大会が三月十四日、役場から東側周辺の神社や公園等を歩くコースで開催され、親子連れや仲良しグループが、問題を解いたり、紙飛行機を飛ばすゲーム等に挑戦しました。

この大会は、主催者から配ら

れたコマ図(交差点や分岐点だけの連続図)をたよりに途中いくつかの問題を解いた得点と、ゲームをして得た得点、時間を点数に換算した合計点をあらすうゲーム。

十一人が参加。チェックポイントでは「かじの木伝説の木は何の木」など問題が出され、懸命に解いては、次のポイントに向かっていました。

成績は次のとおり

★小学生の部▼優勝 サンダーバニーチーム▼二位 リーダおさるチーム▼三位 りんごチーム▼ファミリーの部▼優勝 福森チーム▼二位 キュウティーハニーチーム▼三位 チームおつだ★一般の部▼優勝 三組チーム▼二位 ポピーチーム▼三位 フクチャンチーム



雨の中次々にスタートする



すばらしいステップを披露



紙ヒコーキ飛ばしに挑戦



おはやしと歌でもりあがった

ガッパの 偶作

⑧

皆さん、おやっとなさ～！

先月、アース・デイ（地球の日）という国際祝賀行事を説明しながら、環境汚染や大量のリサイクルされていないゴミ、アルミ缶、紙などの問題を持ち出しました。今回も環境のテーマを続け、日本の環境に優しい習慣を述べて、地球を守るために自分でできることを提案したいと思います。

まず、日本とアメリカの生活を比べると、日本で環境に優しい習慣が多くあることに気がきました。

- *洗濯物が外で自然に干してあること。

- *食器がほとんど手で洗われること。

私は初めて日本に来た時、電気乾燥機、食器洗い機がほとんど使われていないことが大きなショックでしたが、電気器具を使わないため、エネルギーを保護することができます。

- *お風呂に入る時、何回もお湯を入れ直さないで、みんな同じお湯を使うこと。

日本人のお風呂の入り方はアメリカ人にとって信じられないことですが、日本と同じように外国にも水の節約を増進したらいいと思います。さらに、次の日残りの水を洗濯機に使うとなお一層水を保護できます。

- *トイレにペーパータオルがたまにしか準備していないこと。

日本のトイレにペーパータオルがないので必ず自分のハンカチを持っていく習慣があります。ペーパータオルや電気ドライヤーを使わないと紙と電気を無駄にしないし、資源も保護することができます。

ぜひこの地球に優しいことを続けたらいいと思いますけれども、環境を守るために自分でできることがまだまだあります：

- *買い物に行く時、自分の袋を持って行くこと。ビニール袋を使わないように！

- *リサイクルすること。ダンボール、発泡スチロール、生ゴミ、空缶、ビン、新聞紙などに分けてゴミを出しましょう。

- *自転車と公共交通機関を使うようにしましょう！

- *水を大切に使いましょう！例えば、歯をみがく時、水道の水を止めてください。

- *電気の無駄使いをなくしましょう！部屋を出る時は電気を消しましょう。

START SIMPLY AND SIMPLY START! 始めるのは簡単です。簡単なことから始めましょう！我々の地球は宝物ですので大事な環境を守るようにがんばりましょう！



春の国際交流キャンプでのスナップ

十嶋

十嶋の文学

作品と取材地・舞台（県名など）

（その九）

十嶋は二百種以上のたくさんの作品を書いていきます。

そのすべてについて紹介することは出来ませんが、主なものを取材地・舞台（県名など）と結んで述べてみましょう。

山の太郎熊 日本アルプス（長野）
 ▼黒ものがたり（長野県）
 ▼大造爺さんと雁 栗野町（鹿児島）
 ▼雉と山鳩 霧島町（鹿児島）
 ▼月の輪熊 遠山川（長野）
 ▼金色の川 五箇瀬川（宮崎）
 ▼二人の兄弟と五位鷲 加治木（鹿児島）
 ▼栗野岳の主 栗野（鹿児島）
 ▼猫ものがたり 加治木（鹿児島）
 ▼母グマ子グマ アルプス（長野）
 ▼赤い花 遠山川（長野）
 ▼森の王者 アラスカ（北アメリカ）
 ▼片耳の大鹿 屋久島（鹿児島）
 ▼悪石島の少年 悪石島（鹿児島）
 ▼山の大將 南アルプス（長野）
 ▼赤い霜柱 紫尾（鹿児島）
 ▼アルプスの猛犬 南アルプス（長野）
 ▼のら犬マヤ 加治木（鹿児島）
 ▼熊野犬 加治木（鹿児島）
 ▼大空に生きる 鬼面山（長野）
 ▼子ざるひよし 幸島（宮崎）
 ▼カラスものがたり 甑島（鹿児島）
 ▼孤島の野

犬 甑島（鹿児島）
 ▼たたかうカモシカ 南アルプス（長野）

▼アルプスのきじ 赤石山（長野）
 ▼あまみのくろうさぎ 奄美大島（鹿児島）
 ▼チビザル兄弟 屋久島（鹿児島）
 ▼カガミジシ 四浦（鹿児島）
 ▼つるのよめじよ 甑島（鹿児島）
 ▼マヤの一生 加治木（鹿児島）
 ▼モモちゃんとあかね（鹿児島）
 ▼ハブとたたかう島 奄美大島（鹿児島）
 ▼やせ牛物語 宇和島（愛媛）
 ▼沖縄 白い鳥 九重（大分）
 ▼ネズミ島物語 宇和海（愛媛）
 ▼カワウソの海 宇和海（愛媛）
 ▼イタチのまち 竹田（大分）
 ▼けむり仙人 土佐（高知）
 ▼山の民とイノシシ 東米良（宮崎）
 ▼四浦・泊野（鹿児島）
 ▼るり寺ものがたり 伊那谷（長野）
 ▼ほうまん池の力ツパ 種子島（鹿児島）
 ▼海上アルプス 屋久島（鹿児島）
 ▼ふしぎな石と魚の島 姫島（大分）
 ▼ヤマネコと水牛の島 西表島（沖縄）
 ▼オロロン島とおじいさん 天売島（北海道）
 ▼ヤクザル大王 屋久島（鹿児島）
 榎蘭高雄

『松下文庫』は今

基金利息で毎年「本」購入



いつかはこんなコーナーが

生涯、教育者として一筋に歩いてこられ、平成七年二月に亡くなられた故・松下武二氏。その夫の遺志を引き継がれた夫人のアキさんが「加治木町の図書館に『松下文庫』をつくって子どもたちにたくさん本を読ませてください」とその基金一千万円をその年の十一月に寄付されました。

町では、新しい図書館が完成するまでは『松下文庫基金』として積み立て、その利息で毎年本を購入することにしました。ご存じのとおり、新しい図書館は出来ておりませんので「松

下文庫」コーナーは設置してありません。図書館では寄付していただいた基金を積み立て、その利息（毎年五万五千円程度）で年間三十冊程度の本を購入しています。そして、松下文庫のゴム印を裏表紙に押印し、多くの方々にご利用いただきたいです。

町としては、歴史と文化の町にふさわしい図書館が一日も早く建設できるよう努力し、完成しましたら「松下文庫コーナー」を設け、多くの子どもたちが親しめる絵本や童話を購入したいと考えております。

地域振興券の使用は 9月23日まで！

地域振興券の引換えが済んでいない方は、お早めに、
役場へお越しください。

運転免許証等、受取人が確認できるものと印鑑
(シャチハタは不可) をご持参ください。

このステッカーのお店でご利用を！

加治木町 地域振興券

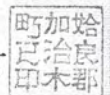
地 域 振 興 券

見 本 ¥1,000.

金壹千円

有効期限/平成11年9月23日まで

鹿児島県 加治木町



取扱店

加治木町発行の地域振興券だけがご使用になれます。

注意 !!

加治木町の地域振興券は
「町内の地域振興券取扱店」でしか
使用できません。

特定事業者へお願い

地域振興券の二次利用はしないでください。



上村 実行

社会教育課



はぜ やま
栢 山 博 和

総務課



土 屋 トシ子

健康福祉課

役場職員の人事異動

4月1日付
()は前課

健康福祉課長・富永貞義（福祉課長）▽保険生活課長・神田哲夫（保健衛生課長）▽保険生活課長補佐兼生活児童係長・福森徳昭（福祉課課長補佐兼児童福祉係長）▽健康福祉課課長補佐兼福祉サービス係長・湯川忠治（保健衛生課課長補佐兼国民健康保険係長）▽保険生活課国保医療係長・岩崎丈治（福祉課老人障害係長）▽保険生活課環境衛生係長・山下滋（保健衛生課環境衛生係長）▽保険生活課幸和寮係長・中村和子（福祉課幸和寮係長）▽保険生活課加治木小山田保育所長・川田伸幸（福祉課加治木小山田保育所長）▽企画課企画係長・飯屋隆夫（保健衛生課予防係長）▽健康福祉課介護保険係長・郡山秀樹（福祉課介護保険係長）▽健康福祉課保健予防係長・前田むつ子（保健衛生課保健係長）▽保険生活課環境衛生係・楠元淳一郎（福祉課老人障害係）▽健康福祉課福祉サービス係・松元月代（福祉課老人障害係）▽健康福祉課福祉サービス係・岩田紀子（福祉課老人障害係）▽健康福

祉課福祉サービス係・鳥丸勝弘
 (福祉課老人障害係) ▽健康福
 祉課保健予防係・児玉ひとみ
 (保健衛生課予防係▽健康福祉
 衛生課保健係) ▽健康福祉課保
 健予防係・向江美喜(保健衛生
 課保健係) ▽健康福祉課保健予
 防係・池江智江美(保健衛生課
 保健係) ▽健康福祉課保健予防
 係・丸岡悦子(保健衛生課保健
 係) ▽健康福祉課介護保険係・
 外園陽一(福祉課介護保険係)
 ▽保険生活課生活児童係・川田
 サチ子(福祉課福祉係) ▽保険
 生活課生活児童係・有田加代子
 (福祉課福祉係) ▽保険生活課
 生活児童係・中西誠二(福祉課
 児童係) ▽保険生活課加治木保
 育所・吉岡万里子(福祉課加治
 木保育所) ▽保険生活課加治木
 保育所(岩崎真智子(福祉課加
 治木保育所) ▽保険生活課加治
 木保育所・富永佳子(福祉課加
 治木保育所) ▽保険生活課加治
 木保育所・橘木普子(福祉課加
 治木保育所) ▽保険生活課小山
 田保育所・寺師ふみ子(福祉課
 小山田保育所) ▽保険生活課小

山田保育所・古川綱代（福祉課
小山田保育所）▽保険生活課小
山田保育所・有馬幸子（福祉課
小山田保育所）▽保険生活課國
保医療係・外山浩己（保健衛生
課國民健康保健係）▽加治木幼
稚園・大内山節子（保健衛生課
國民健康保健係）▽保険生活課
國保医療係・濱田耕一（保健衛
生課予防係）▽健康福祉課福祉
サービス係・岩澤正継（保健衛
生課環境衛生係）▽保険生活課
環境衛生係・荻岐昌弘（保健衛
生課環境衛生係）▽社会教育課
長補佐兼社会教育係長・上村実
行（田代町教育委員會）▽社会
教育課庶務係長・竹下弘（企画
課企画係長）▽総務課文化会館
係・北野靖往（社会教育課社会
教育係）▽耕地課工事係・大園
哲也（都市計画課計画係）▽保
險生活課國保医療係・吉永花子
（加治木幼稚園）▽錦江幼稚
園・濱田郁代（加治木幼稚園）
▽加治木幼稚園・富義恵美（錦
江幼稚園）▽健康福祉課福祉サ
ービス係・土屋トシ子（新採用）
▽総務課庶務係・杵山博和（新
採用）

ポカポカ陽気に恵まれた三月二日・三日の両日、かもだ通り商店街を中心に恒例の「初市」が開かれ、町内外の買い物客で賑わいました。

歩行者天国となった通り周辺には、植木や日用雑貨、刃物、食料品の店など約百八十店が軒を並べ、売り手の威勢のいい掛け声や買い物客の値切る声が飛びかいました。

出店は毎年ほぼ同じ場所に同じ店が立ち並び、毎年出かける人には品物がさがしやすい市。今年も食べ物屋が一番多く、特にたこ焼き、イカ焼き、しんこ団子などは醤油等の焦げる匂いがたまらなく、大人も子どもも手軽に買えて大人気。木市にも多くの人が訪れ、めずらしい花や木々、苗物などを他店と見比べながら買い求めています。

春を呼ぶ初市



出生児 福永 梨奈
保護者 政文 明神



うぶ声

かじき 第10回 龍門滝まつり

●日時 6月6日(日)9:00~
●会場 龍門滝周辺

1999

4

おしらせ



各種イベント&アトラクション
満載の楽しい一日
今年も大いに楽しんじゃおう!!

雨天決行

ます・こいのつかみどり・馬踊り
将棋大会、ウォーキング大会

追田 倭 剛 西江口 団地
西森 里奈 健一 提水流
森木 鋭一 誠 垂之口
美坂 優衣 英樹 東吉原
湯浅 太陽 慎太郎 明神
久保 裕聖 博一 西江口 団地
伊藤 駿矢 雄一郎 赤坂
岩元 あずさ 伸一 西塩入 団地
花田 菜依香 博典 豊町
白濱 隆成 友美 須崎
田中 夏桜 浩 弥勒
湯之上 航 翼 蔵王 団地
▼3月20日までに住民台帳に記載された方を掲載いたしました。

川柳
ムクドリのはるしい野菜
先に食べ
畠中 武志



個人投稿

蝶々に急停車する縄電車
不況とぶだんご団子の春の詩
春昼や日の斑ついばむ神の鶏
少女らの次第にうるむ卒業歌
初市や面を被りてお面売る
反抗期活けて横むくチューリップ
黒板に残る数式日脚伸ぶ
雛あられ試験さなかの子の卓に
大いなる夕星二つ雁帰る
ピーナツの袋をキヤツチ春のバス
啓蟄や心にもなき嘘妻に
春寒や庁舎に辞令受くる朝
遠山の影おだやかな春の虹
春うらら酢甕つぶやく丘の上
盲人とこころ交はしつ春灯
日脚伸ぶ葬りの知らせ重なる日
祈りにも似たる思ひや雛納め
冴え返る愛書一さつ北枕
初蝶や日本になじむ挙手の礼

加藤 白柳
川畑 克己
白尾 澄子
川崎 黒鬼
岩田 美知江
神村 洋子
園田 千秋
柳田 稔
犬童 利春
小田 原禮二
恒吉 斗南
稲恒 寧夫
山ノ内 治一
赤池 廣子
古江 重美
竹山 洋子
高木 正男
藤原 壽子
脇本 星浪
大迫 ヤエ子

御寄付

香典返しに代わりにご寄付をいただきました。厚く御礼申し上げます。故人の御めい福をお祈りいたします。()は故人

社会福祉協議会へ

〔十万円〕

竹下 湯田 芳子 (夫 實 94)

〔五万円〕

田中 日高 司雄 (妻 瑞子 64)

萩原 壹岐 泰典 (母 イク 85)

楠原 山下 ユキエ (夫 藤男 86)

中野 有村 ハル子 (夫 杉男 77)

上木田 原田 経昭 (父 留吉 79)

須崎 今村 清澄 (母 美喜 97)

〔三万円〕

岩原東 草水 博行 (父 木下透 74)

中浜 是枝 澄子 (夫 義孝 65)

札立 船迫 義男 (母 ハツエ 91)

向江町

楠園

小田倉

辺川下

中野

田中

里ノ下

〔二万円〕

小陣

赤谷

日木山黒川

弥勒

豊町

西浦西

〔二万円〕

札立

山下 正子 (叔母 萩原ヨネ 77)

川崎 イツ子 (母 高崎ヒデ子 76)

杉田 一江 (母 フミ 93)

鹿屋 兼光 (母 トキ 92)

山元 アヤ (夫 時男 75)

地久里 明 (母 エダ 94)

定榮 昭一 (母 キヨ子 74)

松尾 義和 (母 サチ子 76)

亀井 シカ (夫 政良 86)

坂元 ナミ子 (夫 素 81)

〔三万円〕

向江町

〔二万円〕

札立

船迫 義男 (母 ハツエ 91)

老人クラブ連合会へ

〔二万円〕

札立

船迫 義男 (母 ハツエ 91)

松尾 義和 (母 サチ子 76)

〔三万円〕

向江町

〔二万円〕

里ノ下

〔二万円〕

里ノ下

〔二万円〕

〔二万円〕

〔二万円〕

〔二万円〕

〔二万円〕

〔二万円〕

〔二万円〕

〔二万円〕

〔二万円〕

〔二万円〕

〔二万円〕

〔二万円〕

〔二万円〕

〔二万円〕

〔二万円〕

〔二万円〕

〔二万円〕

〔二万円〕

〔二万円〕

〔二万円〕

老人クラブ連合会へ

〔二万円〕

札立

船迫 義男 (母 ハツエ 91)

松尾 義和 (母 サチ子 76)

〔三万円〕

向江町

〔二万円〕

里ノ下

〔二万円〕

里ノ下

〔二万円〕

〔二万円〕

〔二万円〕

〔二万円〕

〔二万円〕

〔二万円〕

〔二万円〕

〔二万円〕

〔二万円〕

〔二万円〕

〔二万円〕

〔二万円〕

〔二万円〕

〔二万円〕

〔二万円〕

〔二万円〕

〔二万円〕

〔二万円〕

〔二万円〕

〔二万円〕

老人クラブ連合会へ

〔二万円〕

札立

船迫 義男 (母 ハツエ 91)

松尾 義和 (母 サチ子 76)

〔三万円〕

向江町

〔二万円〕

里ノ下

〔二万円〕

里ノ下

〔二万円〕

〔二万円〕

〔二万円〕

〔二万円〕

〔二万円〕

〔二万円〕

〔二万円〕

〔二万円〕

〔二万円〕

〔二万円〕

〔二万円〕

〔二万円〕

〔二万円〕

〔二万円〕

〔二万円〕

〔二万円〕

〔二万円〕

〔二万円〕

〔二万円〕

〔二万円〕

老人クラブ連合会へ

〔二万円〕

札立

船迫 義男 (母 ハツエ 91)

松尾 義和 (母 サチ子 76)

〔三万円〕

向江町

〔二万円〕

里ノ下

〔二万円〕

里ノ下

〔二万円〕

〔二万円〕

〔二万円〕

〔二万円〕

〔二万円〕

〔二万円〕

〔二万円〕

〔二万円〕

〔二万円〕

〔二万円〕

〔二万円〕

〔二万円〕

〔二万円〕

〔二万円〕

〔二万円〕

〔二万円〕

〔二万円〕

〔二万円〕

〔二万円〕

〔二万円〕

老人クラブ連合会へ

〔二万円〕

札立

船迫 義男 (母 ハツエ 91)

松尾 義和 (母 サチ子 76)

〔三万円〕

向江町

〔二万円〕

里ノ下

〔二万円〕

里ノ下

〔二万円〕

〔二万円〕

〔二万円〕

〔二万円〕

〔二万円〕

〔二万円〕

〔二万円〕

〔二万円〕

〔二万円〕

〔二万円〕

〔二万円〕

〔二万円〕

〔二万円〕

〔二万円〕

〔二万円〕

〔二万円〕

〔二万円〕

〔二万円〕

〔二万円〕

〔二万円〕

老人クラブ連合会へ

〔二万円〕

札立

船迫 義男 (母 ハツエ 91)

松尾 義和 (母 サチ子 76)

〔三万円〕

向江町

〔二万円〕

里ノ下

〔二万円〕

里ノ下

〔二万円〕

〔二万円〕

〔二万円〕

〔二万円〕

〔二万円〕

〔二万円〕

〔二万円〕

〔二万円〕

〔二万円〕

〔二万円〕

〔二万円〕

〔二万円〕

〔二万円〕

〔二万円〕

〔二万円〕

〔二万円〕

〔二万円〕

〔二万円〕

〔二万円〕

〔二万円〕

老人クラブ連合会へ

〔二万円〕

札立

船迫 義男 (母 ハツエ 91)

松尾 義和 (母 サチ子 76)

〔三万円〕

向江町

〔二万円〕

里ノ下

〔二万円〕

里ノ下

〔二万円〕

〔二万円〕

〔二万円〕

〔二万円〕

〔二万円〕

〔二万円〕

〔二万円〕

〔二万円〕

〔二万円〕

〔二万円〕

〔二万円〕

〔二万円〕

〔二万円〕

〔二万円〕

〔二万円〕

〔二万円〕

〔二万円〕

〔二万円〕

〔二万円〕

〔二万円〕

老人クラブ連合会へ

〔二万円〕

札立

船迫 義男 (母 ハツエ 91)

松尾 義和 (母 サチ子 76)

〔三万円〕

向江町

〔二万円〕

里ノ下

〔二万円〕

里ノ下

〔二万円〕

〔二万円〕

〔二万円〕

〔二万円〕

〔二万円〕

〔二万円〕

〔二万円〕

〔二万円〕

〔二万円〕

〔二万円〕

〔二万円〕

〔二万円〕

〔二万円〕

〔二万円〕

〔二万円〕

〔二万円〕

〔二万円〕

〔二万円〕

〔二万円〕

〔二万円〕

老人クラブ連合会へ

〔二万円〕

札立

船迫 義男 (母 ハツエ 91)

松尾 義和 (母 サチ子 76)

〔三万円〕

向江町

〔二万円〕

里ノ下

〔二万円〕

里ノ下

〔二万円〕

〔二万円〕

〔二万円〕

〔二万円〕

〔二万円〕

〔二万円〕

〔二万円〕

〔二万円〕

〔二万円〕

〔二万円〕

〔二万円〕

〔二万円〕

〔二万円〕

〔二万円〕

〔二万円〕

〔二万円〕

〔二万円〕

〔二万円〕

〔二万円〕

〔二万円〕

老人クラブ連合会へ

〔二万円〕

札立

船迫 義男 (母 ハツエ 91)

松尾 義和 (母 サチ子 76)

〔三万円〕

向江町

〔二万円〕

里ノ下

〔二万円〕

里ノ下

〔二万円〕

〔二万円〕

〔二万円〕

〔二万円〕

〔二万円〕

〔二万円〕

〔二万円〕

〔二万円〕

〔二万円〕

〔二万円〕

〔二万円〕

〔二万円〕

〔二万円〕

〔二万円〕

〔二万円〕

シリーズ
パート10

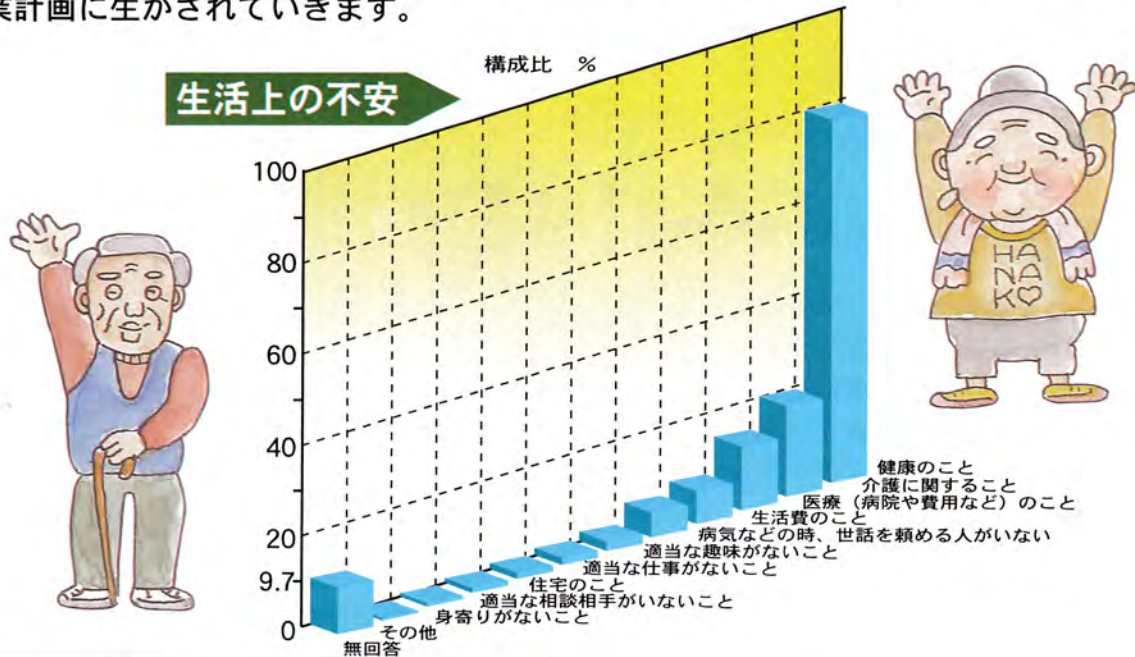
介護保険制度

加治木町高齢者生活実態意識調査から

昨年8月1日に加治木町に居住する65歳以上の高齢者を対象に、健康身体状況や生活状況を把握するとともに保健福祉サービスに対する意見要望などを調査しました。

生活上の不安については、「健康のこと」、次には「介護に関すること」があげられています。また、今後の老人保健福祉対策に力を入れるべき事として、「健康な老人の生きがい対策」、「健康管理対策」、「一人暮らし老人に対する施策」、「緊急時の医療対策」が上位にあげられています。

先日（3月29日）第2回介護保険事業計画及び老人福祉事業計画策定委員会が開かれ、実態調査結果が報告されました。実態調査は総合的に分析されて、今後の事業計画に生かされていきます。



老人保健福祉対策における今後の課題

